

武蔵関駅まちづくり ニュース

平成29年3月

武蔵関駅前まちづくり推進会 の検討結果をお知らせします！

武蔵関駅周辺地区では、『武蔵関駅周辺地区まちづくり構想（平成26年5月策定）』の実現に向けて駅周辺のまちづくりの具体的な検討を行うため、鉄道立体化、都市計画道路補助230号線の整備、石神井川の河川改修が予定されている武蔵関駅に近いエリア（2ページの図面参照）の公募メンバーおよび町会・商店会からの推薦メンバーにより、平成27年10月に『武蔵関駅前まちづくり推進会』を設立しました。

推進会では、延べ9回の会合を開催し、事例見学会やまち歩き、ワークショップを行い、「駅前広場の必要性や整備のあり方」「駅周辺の商店街の活性化」について検討してきました。このたび推進会の検討結果がまとまりましたのでお知らせします。

今後は、推進会の検討結果を踏まえ、鉄道事業者や関係する権利をお持ちの方々との協議を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



推進会の様子



武蔵関駅周辺のまち歩きの様子

まちづくり推進会の活動経過

第1回推進会：平成27年10月21日（水）
推進会の設立、会則、今後のスケジュール

第2回推進会：平成27年11月15日（日）
練馬高野台駅、大泉学園駅の見学会

第3回推進会：平成28年2月16日（火）
課題や方向性について

第4回推進会：平成28年4月19日（火）
道路・交通について①

第5回推進会：平成28年6月21日（火）
道路・交通について②

第6回推進会：平成28年8月23日（火）
商業環境について

第7回推進会：平成28年10月16日（日）
まち歩き

第8回推進会：平成28年12月13日（火）
水とみどり・景観について

第9回推進会：平成29年3月16日（木）
推進会の検討のまとめ

武蔵関駅前まちづくり推進会の検討結果（概要）



武蔵関駅前まちづくり推進会の検討結果の概要をお知らせします。
武蔵関駅周辺地区のまちづくりの経緯等は、練馬区ホームページでご覧になることができます。



武蔵関駅周辺地区のまちづくり

で **検索**

武蔵関駅周辺で今後予定されている事業

- 西武新宿線の連続立体交差化
- 都市計画道路補助230号線の整備
- 石神井川の河川改修

⇒内容は4ページをご覧ください

まちづくりの課題

推進会のテーマ①

駅前広場の必要性や整備のあり方

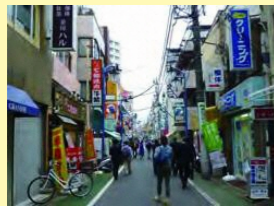
- 踏切の早期解消と歩行者の安全対策
- 鉄道・バス・タクシーの乗り換えの利便性の向上
- 駅周辺の安全な歩行空間の確保
- 自転車の利用環境の改善
- 石神井川の水とみどりの活用



推進会のテーマ②

駅周辺の商店街の活性化

- 商店街としての連続性の維持
- 商店街通りでの街並みの調和
- 個店の魅力の維持・創出
- 安全・快適に買物ができる買物空間の整備
- 買い物時における自転車利用環境の改善



まちづくりの検討結果

●駅前広場の整備

- ・鉄道とバス、タクシーの乗り換えの利便性を高める
- ・バス、タクシーの乗り入れを優先
- ・待ち合わせスペースなどの空間の確保
- ・関のポロ市など歴史的資源を活かした特徴あるデザイン
- ・石神井川の水とみどりを踏まえ、まちの顔となる大木などを植樹し、自然素材を活かしたほっとできる空間
- ・武蔵関駅への観光バスなどの発着場所の確保



【事例】練馬高野台駅北口広場

●補助230号線の整備

- ・自転車や歩行者が安心して通行でき、まちが分断されないような整備
- ・将来的にバスルート、補助230号線をメインにする
- ・電線類の地中化
- ・歩道に中低木を植樹し、緑豊かな道路として整備

●鉄道立体化、補助230号線の整備、石神井川の河川改修事業を活かした駅南北の回遊性の向上

- ・高架下を利用した南北動線の確保、駅南北をつなぐ都市計画道路の整備、石神井川沿いの遊歩道の整備などにより駅南北を楽しく回遊できる環境を向上させる



【事例】石神井川上御成橋付近の遊歩道

●関町庚申通りの歩行環境の改善

- ・関町庚申通りはバス通りとして狭く危ないが、堅固な建物が建ち並んでいるため拡幅整備は困難
- ・バス路線を補助230号線などに変更し、歩行者の空間を確保

●石神井川沿いの整備

- ・河川改修にあわせて石神井川沿いを緑化し、周辺のみどりと駅前空間をつなぎ、散策できる環境を整える
- ・河川沿いの遊歩道には、まちのシンボルとして親しまれている桜のほか、四季折々に楽しめる樹木を混在させて植樹
- ・川を眺められるテラスや川に降りられる場所などの親水空間を整備



【事例】神田川親水テラス（高田馬場駅付近）

●駅前広場へのアクセス道路の整備

- ・補助230号線や関町庚申通りから駅前広場へのアクセス道路を整備

●バス路線の充実

- ・補助230号線の整備に伴い、バス路線の一部を補助230号線に変更し、バス利用の利便性や安全性を向上

●賑わいがあり、調和のとれた商店街通りの街並みの誘導

- ・商店街通りの1階部分を店舗とするなど商業環境と調和した街並みのルールづくり
- ・建物の高さや形態、看板デザインなどの調和がとれた街並みを誘導

●商店街通りの買物空間の改善

- ・自動車の交通規制、歩道の確保など歩行者の安全対策を推進
- ・壁面後退などによる店先の駐輪スペースの確保
- ・電線類の地中化



【事例】壁面後退による店先のスペースの確保（練馬駅南口地区）

●駅周辺の歩行空間の改善

- ・電線類の地中化や建物の壁面後退などにより歩行者やベビーカーがゆったりと歩ける空間を確保

●南北の商店街の連携強化

- ・鉄道立体化により南北の行き来がスムーズになる機会を捉え、南北の商店街が連携して、まちの賑わいづくりに取り組む

●鉄道立体化を契機とした駅前の賑わい空間の創出

- ・高架下などに店舗や行政サービス機能を集積させ、駅利用者の利便性を向上
- ・鉄道の高架下を利用して、多目的空間を確保
- ・小規模な店舗を共同化し、賑わいの拠点づくりを進めることも検討



【事例】高架下を利用した商業施設（練馬高野台駅）



●駐輪場の確保

- ・鉄道立体化により創出される高架下などを活用して駐輪場を確保
- ・買い物時の一時利用を検討

- 駅前広場の検討範囲
- 都市計画道路（広域交通を担う道路）
- 商店街通り
- 鉄道
- 駅前広場へのアクセス道路
- 石神井川の水とみどり
- 武蔵関駅前まちづくり推進会の検討範囲

武蔵関駅周辺で今後予定されている事業

推進会では、以下に示す武蔵関駅周辺で今後予定されている事業を踏まえ、これらの事業が連携し、調和のとれた駅前空間が形成されることを目指して検討を行いました。

●西武新宿線の連続立体交差化

東京都では、平成16年6月に策定した「踏切対策基本方針」において重点的に対策を実施・検討すべき「重点踏切」を抽出し、その解消のため、連続立体交差事業を進めています。

東京都は、西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）を平成28年3月に新規に着工を準備する区間として社会資本総合整備計画に位置づけ、現在構造形式や施工方法の検討を進めています。



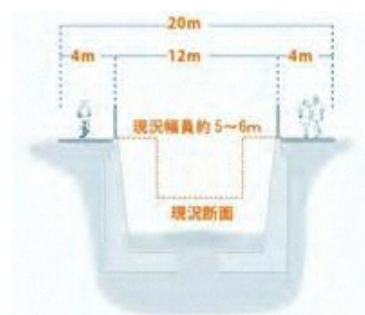
西武池袋線（石神井公園駅付近）の例にみられる様に、都内で行われている連続立体交差事業の多くは鉄道の高架化により実施されていることから、当地区においても、まずは高架化を前提にまちづくりの検討を進めました。

【事例】西武池袋線（石神井公園駅付近）連続立体交差事業 ※東京都HPより引用

●石神井川の河川改修

石神井川では、1時間あたり75mm規模の降雨に対応するために、東京都が、川幅拡幅、河床掘削、自然環境に配慮した整備、調整池の整備を行っています。

武蔵関駅周辺では、今後、川幅を12mまで広げ、その両側に幅員4mの河川管理用通路が設けられる予定です。



※石神井川河川整備計画(東京都)をもとに作図



●都市計画道路補助230号線の整備

練馬区は、平成28年3月策定の「都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、補助230号線（青梅街道～新青梅街道間）を練馬区施行の優先整備路線に位置づけました。

補助230号線は、歩車道が分離され安全な歩行空間が整備された駅へのアクセスルートとなる計画幅員16mの都市計画道路です。



【事例】都市計画道路132号線（幅員16m、練馬区石神井町二丁目付近）

お問い合わせ先

練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課

電話:5984-1278(直通) 担当:内藤・山口・橋本・大藤・林



練馬区独立70周年